

| 教育長 | 副教育長 | 部長 | 次長 | 課長 | 補佐 | 係長 | 係 |
|-----|------|----|----|----|----|----|---|
| | | | | | | | |

令和元年度 第1回市原市文化財審議会会議 議事録

1 日時 令和元年6月10日(月) 15:30～17:00

2 開催場所 市原市市民会館2階会議室3

3 出席者 【委員】

鷹野光行(会長)、鈴木仲秋(副会長)、市毛勲、小野寺節子、香月節子
西脇 康、丸山 純、塩澤寛樹、萩原恭一(原田一敏欠席)

【事務局】

若菜部長、島津次長、今泉課長、忍澤課長補佐、米本所長、北見係長
牧野副主査、木對主任

【傍聴人】

なし

4 次第

1 開会のことば

2 議題

(1) 会長、副会長の選出

(2) 諮問書交付

伝椎津城跡の石造宝篋印塔

3 議事

4 事業報告

(1) 「養老川流域田淵の地磁気逆転地層」の現状について

(2) 「史跡椎津城跡の環境整備事業」について

5 その他 (1) 「(仮称)いちほら歴史館」の進捗状況について

6 閉会のことば

5 議事の概要

(1) 会長、副会長の選出

市原市文化財の保護に関する条例第26条第2項の規定により、委員の互選により、鷹野光行先生が会長、鈴木仲秋先生が副会長に選出された。

(2) 諮問書交付

市原市文化財の保護に関する条例第4条第3項の規定により、市原市指定文化財の指定について、「伝椎津城跡の石造宝篋印塔」の諮問書を教育委員会から審議会に交付。

(3) 議事「伝椎津城跡の石造宝篋印塔」について

市指定とするには歴史的な背景等をもう少し補強する必要であり、4基の部位を明示した資料を整えて次回の検討課題とする。

(3) 報告1 「養老川流域田淵の地磁気逆転地層」の現状について

国際的な認定にかかわらず、整備事業は進めていく。

(4) 報告2「史跡椎津城跡の環境整備事業」について
地元町会との協働作業による整備状況を報告。

(5) 「(仮称) いちはら歴史館」の進捗状況について
進捗状況を説明した後で、正式名称の案として「いはら歴史博物館」を提示し、一部意見があったが、最終的に市長の決定に委ねることとなった。

6 事務連絡

第2回文化財審議会会議の開催時期について
開催日については委員と調整のうえ早めに決定する。

6 配布資料

次第及び関係資料

7 会議経過

別紙のとおり

別紙 会議の経過

| 発言者 | 会議の経過 |
|-------|--|
| 山形課長 | <p>1 開会のことば ※会議進行役は議事を除き今泉ふるさと文化課長が務めた。 ・開会時、委員10名中9名が出席。市原市文化財の保護に関する条例第27条第2項の規定により審議会の会議が成立していることを報告(原田委員が欠席)。</p> <p>2 議題 (1) 会長、副会長の選出 ※会長選出までの間、若菜生涯学習部長が仮議長を務めた。 市原市文化財の保護に関する条例第26条第2項の規定により、委員の互選により、鷹野光行先生が会長、鈴木仲秋先生が副会長に選出された。 (2) 諮問書交付 市原市文化財の保護に関する条例第4条第3項の規定により、市原市指定文化財の指定について、「伝椎津城跡の石造宝篋印塔」についての諮問書を教育委員会から審議会に交付。 伝椎津城跡の石造宝篋印塔</p> |
| 北見係長 | <p>3 議事 伝椎津城跡の石造宝篋印塔 について 【概要説明】 (会議資料 p 1～10) 【審議】</p> |
| 鷹野会長 | <p>それでは、今の説明について、意見等いただきます。本来の4基が組み合わさって2基となっている。年代的にもほぼ同時期。</p> |
| 丸山委員 | <p>指定目的をはっきりする資料はあるのか。</p> |
| 北見係長 | <p>椎津城跡の調査は2回行っているがよくわからない。</p> |
| 鷹野会長 | <p>歴史資料に該当するのではないか。</p> |
| 萩原委員 | <p>県指定では建造物の類となる。</p> |
| 北見係長 | <p>市指定の宝篋印塔を列挙し、最新の円満寺より古い段階のもの。</p> |
| 鷹野会長 | <p>名称として「伝」はいかがかと思う。</p> |
| 北見係長 | <p>椎津城にあったものを田丸氏が保管し、谷島氏が引き継いだ。</p> |
| 小野寺委員 | <p>椎津城以前から存在した根拠資料はあるのか。</p> |
| 北見係長 | <p>ない。</p> |
| 小野寺委員 | <p>文言にするのであれば、断り書きが必要となる。</p> |
| 丸山委員 | <p>実際の所在位置はどこか。</p> |
| 鷹野会長 | <p>配布資料8ページに示されている。</p> |
| 北見係長 | <p>元々の位置については、前委員の川戸先生の金石文調査時の関係者の話から割り出した。</p> |
| 市毛委員 | <p>名称は、椎津城跡の伝宝篋印塔とすべきか。</p> |
| 丸山委員 | <p>伝はとってもいいのではないか。</p> |
| 鷹野会長 | <p>地域に伝承してきた意義をもっとはっきりさせるべき。歴史的な意味合いはもっと必要である。</p> |
| 市毛委員 | <p>4基の寄せ集めの部位をしっかりと示すべきである。</p> |
| 鷹野会長 | <p>後補がどれなのかわからない。もともとなかったものは削除すべき。</p> |

| | |
|-------|---|
| 香月委員 | 後補も含めて、伝承してきたことに意義がある。 |
| 丸山委員 | 展示するにしても、4基の部位を図で示すべき。本来の部位が、どれとどれで、後補がどれかわかるように。 |
| 市毛委員 | 地域にとっての信仰の対象の2基である。もう一度、歴史的な背景を盛り込んだ資料を作成したうえで、次回に再検討しましょう。 |
| 鷹野会長 | この件については、次回に持ち越しとします。 |
| | 4 事業報告 |
| | 【報告1】「養老川流域田淵の地磁気逆転地層」の現状について |
| 鷹野会長 | 次に報告1「養老川流域田淵の地磁気逆転地層」の現状についての報告を伺います。それでは事務局、説明をお願いいたします。 |
| 牧野副主査 | 配布資料をもとに説明（13ページ）。 |
| 丸山委員 | ①本事業について、国際的認定にかかわらず、市として進めるのか。 ②別地点を見学の対象とするのか、 ③ ガイダンス施設を造るとして、経済部の別途実施とはなにか。変なものが出てしまわないか。 |
| 牧野副主査 | ①内容的な差は出るかもしれないが、基本的には進めていく。 ②市有地の隣接地が候補地であるため、導線的には影響がない。 ③県道の反対側が予定地であり、文化財が全面ではなく、道の駅的な用途。 |
| 鷹野会長 | 了解しました。進めてください。 |
| | 【報告2】 史跡椎津城跡の環境整備事業について |
| 鷹野会長： | 次に報告2、「史跡椎津城跡の環境整備事業について」の報告を伺います。それでは事務局、説明をお願いします。 |
| 北見係長 | 配布資料をもとに説明（14～17ページ）。 現状は眺望を優先し、繁茂する竹林の除去に伴う廃材利用の遊歩道整備を地元町会と協働で実施している。将来的には見学コースの一角として整備していきたい。 |
| 丸山委員 | 見学コースの一角に椎津城跡を含めたとして、車で見学に来た人の対応はどうするのか。 |
| 北見係長： | 協働で事業を進めている地元の方の中には、将来的には観光資源として観光バスの乗り入れを考えている人もいるが、椎津城跡からの居住距離によって温度差が違う。基本的には歩いて回ることを考えている。 |
| 丸山委員 | 了解しました。 |
| 鷹野会長 | ありがとうございました。 |
| | 5 その他 |
| | 「仮称いちほら歴史館」の進捗状況について |
| 鷹野会長 | 次に「仮称いちほら歴史館」の進捗状況についての報告を伺います。それでは事務局、説明をお願いいたします。 |
| 忍澤補佐 | 配布資料をもとに説明（19～20ページ）。19ページが建物、20ページが展示。展示については重文展示ができるよう、文化庁と協議を行いながら公開承認施設を目指している。展示は可動式展示であり、年に何度かレイアウトを変化させ、企画展なども行う。今秋から工事に |

| | |
|-------|---|
| | <p>着工するが、展示の中心は「王賜」銘鉄剣となる。最短で完成は2022年3月の予定。その後、隣接する屋内ゲートボール場を体験館として整備していくが、内容は今年度に検討していく。</p> <p>これまで仮称であったが、正式名称を決定する時期に来ている。事務局としては「いちほら歴史博物館」を考えている。</p> |
| 鷹野会長 | 市原待望の博物館の正式名称について、意見を伺いたいとのことですが、委員から質問や意見などございますか。 |
| 市毛委員 | 「いちほら歴史博物館」でいいと思う。ミュージアムじゃなんだかわからない。 |
| 鷹野会長 | 自然環境の適用はどうするのか。 |
| 忍澤補佐 | 若干オープニング的に触れるかもしれないが、歴史的な環境で考えている。 |
| 丸山委員 | 資料の鳥観図はリアル。構造は何か。 |
| 今泉課長 | 鉄筋コンクリート造りである。 |
| 丸山委員 | 外壁材は何か。 |
| 木對主任 | 鉄板。さびを考慮にいれている。 |
| 市毛委員 | 「いちほら」は平仮名でよいのか。子供でも読める漢字の市原であってもいいのではないか。 |
| 丸山委員 | ひらがなであっても、子供向けではない。私はひらがなに賛成です。 |
| 市毛委員 | 最終的には市長が決めるのであろう。 |
| 鷹野会長 | できれば学校の先生にこの事業に加わってもらい、博物館の完成に向け検討を加えていってもらいたい。 |
| 丸山委員 | 学校との連携は必要である。浦安では当初から検討チームに先生が加わり、完成後の学校教育の一環として成果を挙げている。 |
| 鷹野会長 | 市原市にとって良い博物館となるように、十分検討していただきたい。 |
| 鷹野会長 | 時間も押してきたので、最後に新人の萩原さん、塩澤さんに自己紹介をお願いしたい。 |
| 萩原委員 | 県で文化財に携わっていた萩原です。委員としての発言は、議事録に残るとのことなので、慎重となるが、どの程度残るのか。 |
| 今泉課長 | 基本的には委員確認後の公開となる。 |
| 萩原委員 | 稲荷台1号墳の「王賜」銘鉄剣、国学院大学の二子塚古墳の遺物、山倉1号墳の埴輪など、市原市には重文クラスの考古資料がたくさんあるので、それらの今後について考えさせられる。山倉1号墳についてはどうなっているのか。 |
| 市毛委員 | 市指定文化財となっている。現在一部を佐倉の歴博で展示中。 |
| 塩澤委員 | 今回から参加します塩澤です。20年以上前、前委員の紺野先生と市原市内の仏像悉皆調査を行いお世話になった。今後ともよろしくお願ひします。 |
| 鷹野会長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>以上で、本日の議題等を全て終了いたします。進行は事務局にお返しいたします。</p> <p>6 事務連絡</p> |
| 今泉課長： | 鷹野会長におかれましては、議長を務めていただきまして、ありがとうございました。続きまして事務連絡が事務局よりあります。 |
| 北見係長 | 次回の文化財審議会開催日について(第2回)の審議会会議は11月か2月に行いたいがかか。 |

| | |
|------|--|
| 鷹野会長 | 事務局で実施月を早めに決めてもらいたい。開催日についてはその中で調整しながら決めていきたい。 |
| 今泉課長 | それでは、令和元年度第2回の文化財審議会は、事務局で決定し、近くなりましたらご連絡させていただきます。 |
| 今泉課長 | <p>7 閉会</p> <p>令和元年度第1回市原市文化財審議会会議の閉会宣言。</p> <p>以上で、本日予定している議題などは、全て終了いたしました。</p> <p>本日は、会議前に委員の委嘱を行ったことから、会議終了時間が遅くなってしまいました。委員の皆様におかれましては、長時間にわたり、御協力ありがとうございました。これをもちまして、令和元年度第1回市原市文化財審議会会議を閉会いたします。なお本日配布資料につきましては6月24日まで公開を控えられますよう、お願い申し上げます。</p> <p>以上で、本日予定している議題は全て終了した。</p> |